

欧州プラスチック産業 NEWS



- powered by K -

「K 2013」事前速報 2 号：複合材料 (Composites)

初秋の候、貴社いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがとうございます。世界最大のプラスチック・ゴム産業展「K」まで、7 週間を切りました。準備をできるだけ効率的していただくために、速報 2 号をお送りします。今回のテーマは、複合材料 (Composites) です。

第 1 部：複合材料

成長性のある素材：Composites

ご存知のように、複合素材は利用分野がドンドン広がっています。顕著に目立つのは、自動車と航空機製造業界でしょう。それは、最新の調査が証明しています。ドイツの複合素材にかかわる複数の組織が、今後の市場動向について合同でアンケート調査を行うことを決めました。第一回目の調査が終了し、7 月の月末ごろ結果が公表されました。その調査によりますと、メンバー企業が複合素材の市場景況をやや楽観的に判断しています。企業の約 4 分の 3 は世界の市場の発展あるいはドイツの市場の発展を楽観的、あるいは非常に楽観的に見えています。欧州の市場についての見通しはそれよりすこし落ちますが、それでも回答者の 60% ぐらいは、ヨーロッパの複合素材の市場については楽観的であると見えています。

出典：2013 年 7 月 23 日付け *Plasticker News* 誌、2013 年 3 月 20 日付け *VDMA* リリース

BASF 社軽量化を図る「Enlighten」賞を

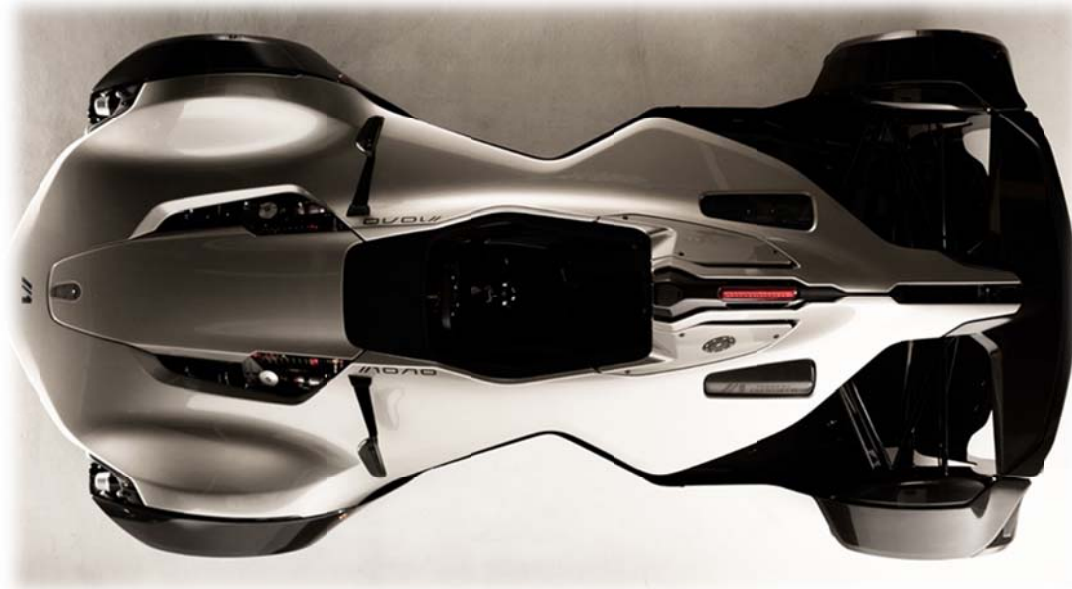
化学大手 BASF 社は、サーモプラスチック複合材料からなる自動車の座席シェルに従来のモデルより重量約 45% を減らした新製品を導入し、自動車軽量化の発展・進歩を評価する「Enlighten」賞を獲得することができました。(ところで、第 2 位になったのは、インドのアルセロールミタルの製品…) BASF 社は、今回の「K」展では、自動車産業などの関連産業をターゲットに複合素材「Ultracom」を展示紹介します。同素材は、60% の重量減少を可能にするとされています。

出典：2013 年 8 月 13 日付け *Plasticker News* 誌、2013 年 7 月 22 日付け *Industrieanzeiger* 誌

複合素材をレーシングカーに：最新事例

英国のレーシングカーメーカー BAC 社は、「モノ」というスーパーカーを作製するために、日本のアークグループのイギリス法人、Arkk Europe から複合素材から作られている部品を導入することを決めました。受

注は、合計 45 台のスーパーカー分程度となります。



写真の出典: <http://www.bac-mono.com/>

情報の出典: 2013 年 7 月 30 日付け Britishh Plastics & Rubber 誌

独ZFは複合素材技術センターを開設

ドイツの主要自動車サプライヤーであるゼット・エフ・グループは今年の 7 月末に、フランクフルトから 160 キロ離れているシュヴァインフルト市に複合素材の研究を主な課題とする「Composites Tech Center」を開設しました。当社はセンターに約 310 万ユーロ(約 4 億 690 万円に相当)を投資し、一年間で開設を完了しました。

出典: 2013 年 8 月 16 日付け *Plasticker News* 誌

Kにおける複合素材

いうまでもなく、複合素材は「K 2013」にも幅広く取り上げられています。下に「複合素材」を展示紹介する企業(会社名とブース番号)を紹介します。(データベースからの情報なので、公表をしていない企業はもちろん含まれていません。ご了承願います。)

Composites	
3G Composites (ドイツ) H8a/C41	Exel Composites (オーストリア) H5/F30
Hangzhou Zhen Ran (中国) H8b/A24	Icco Composites(フランス) H8a/F12
PEP (フランス) H2/E23 & H15/B24	
Nanocomposites	
Addiplast (フランス) H5/D4-14	Aksoy Plastic (トルコ) H8b/E63-4
ARKEMA (フランス) H6/C57	AVANZARE (スペイン) H7.2/F18

東レ株式会社（日本） H8b/F61	
Metal Polymer Composites	
Addiplast（フランス） H5/D04-14	Foshan Huanzi（中国） H8b/G24-17
Frenzelit（ドイツ） H12/B49	PolyIC（ドイツ） H5/A19
Premix Oy（フィンランド） H8a/K27	
Metal Matrix Composites Materials	
Frenzelit（ドイツ） H12/B49	
Fiber-reinforced Composites	
August Herzog（ドイツ） H3/G62	

出典: www.k-online.de サイト、「Companies & Products」検索

第 2 部 : イベント情報

2013 年 10 月 16～23日「K」に関するイベント情報



* 弊社は 2013 年 10 月 18 日に、日本の優れた技術を外国からのバイヤーや報道関係者を対象に行うプレゼンテーション「**Japan Technology Forum**」を開催します。

フォーラムはそれぞれ 45 分+5 分(Q&A)のセッションで構成されます。(同時通訳付き) 日本企業で海外市場の潜在ユーザー、プレスに対し自社の及び自社製品のプレゼンテーションを行うには最良の機会です。どうぞご活用ください。

* 参加者誘致活動はメッセ・デュッセルドルフ本部プレス部および世界 68 か国に設置された在外代表部を通じて実施します。* プレゼンテーション用器具はメッセ・デュッセルドルフ・ジャパンが用意。* 発表者が準備するものは当日使用のチャートおよび配布資料のみ
参加条件などは、[こちら](#)をごらんください。参加申し込みは[こちら](#)からお願いします。

* 10月21日「**ジャパン・デー**」最新情報と追加イベント

前回と同様に、メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンは、本社と提携し、10 月 21 日の月曜日に「**ジャパン・デー**」を実施します。プログラムは下のような予定です。参加申込を「[オーダーフォーム](#)」からお願いします。

午前中: [巡回ハイライトツアー](#) (10:00～12:30、通訳者付)

2 コースから選んでいただけます: A コース: 素材、B コース: 機械

注目を集める出展企業ブースを巡回するため事前のアポが必須です。当ツアーに参加希望の場合、A、Bどちらかのコースを選択の上、「[オーダーフォーム](#)」よりお申し込みください。訪問予定ブースは Bayer、BASF、KraussMaffei、Sumitomo-DEMAG など(申込者の業種により、参加をお断りすることもございますので、予めご了承ください。)

午後: 日本人向けセミナー「欧州プラスチック・ゴム産業の事情: 市場構成、市場参入、トレンド」

(14:00~16:45、日本語通訳付き、日本語資料配布)

発表のテーマは下記の通り計画しています。

1) 欧州プラスチック・ゴム産業の事情: 市場動向とグローバル化の中の戦略。

新着情報: 発表者=ドイツ機械工業連盟、プラスチック・ゴム機械工業会 T.キューマン理事

2) プラスチック・ゴム機械の分野における、欧州の安全基準と安全の確保

新着情報: 発表者=ドイツ機械工業連盟、プラスチック・ゴム機械工業会 B.ネーテル氏

3) CFRPなど、複合素材利用事例と展望

4) バイオプラスチック: 現状とチャンス

新着情報: 発表者=シュテュットガルト大学 C. ボンテン教授

セミナーへの参加申込は同様に、「オーダーフォーム」からお願いします。なお、会場の都合により、参加者の数が限られています。申し込み先着の順で決定させていただきます。また、訪問する企業、発表の内容が変わる場合があります。ご了承ください。

夕方: レセプション

(18:30~20:30、会場内のレセプションルーム)

「ジャパン・デー」の締めくくりとして、夜にレセプションを開催します。地元のアルトビールやドイツのおいしい食事などを用意し、業界エキスパートの「懇親会」として開催いたします。参加申込は「オーダーフォーム」からお願いします。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集担当】メルケ 【メッセ担当】山本

info@messe-dus.co.jp

■ <http://www.messe-dus.co.jp> ■ <http://k.messe-dus.co.jp>



@MD_Japan



メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

当ニュースターご不要の方は恐れ入りますが、上記アドレスへ「欧州プラスチック産業 NEWS 送信不要」とご連絡お願い致します。本メールの掲載情報はメール発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。